

科目名	公務員への道 I	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	□必修 ■選択	
			総合政策学部	□必修 ■選択	
英文表記	Your Way to be Government Officials I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中		
ふりがな	いしかわ たけいち	実務家教員 担当科目	○	修得単位	4単位
担当者名	石川 竹一	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	ロシアのウクライナへの侵略とウクライナ国民の殺戮、イスラエルのパレスチナ住民殺戮は、各国の公務員という職業の本質と社会における公務員の機能を鮮明に表している。各国は国力と国を取り巻く環境に即した防衛力を備え、外交により平和を守り、この土台の上で、産業を振興し、科学技術を発展させ、福祉を増進し、安定した社会を維持している。この枠組みを維持するために、公務員選抜の仕組みがある。				
到達目標	公務員という職業と機能を理解し、社会と公務員と自己との関連を認識し、自己啓発への道を開発する。				
授業概要	公務員養成の科学の全てを深く掘り下げ、学生自身の自己体験を通して理解する。夢の実現へ向かう為の第1歩を踏み出す機会を提供するために、まず目標を設定し、具体的な学習を開始する。公務員試験に合格する実力を涵養すれば、民間上場企業総合職試験合格にも繋がる。就職試験の標準たる公務員試験学習を行うことは、民間上場企業総合職試験合格の近道である。				
授業計画					
第1回	年間計画の説明、練習問題	第17回	英語練習		
第2回	働くこととは①労働と仕事、国語練習	第18回	国家公務員①総合職：政府中枢(1)、小論文練習		
第3回	働くこととは②資本と公共財、国語練習	第19回	国家公務員①総合職：政府中枢(2)、小論文練習		
第4回	働くこととは③公務員としての働き甲斐、社会科練習	第20回	国家公務員②一般職：地方支分部局(1)、小論文練習		
第5回	公務員のイメージと実像①、第一線職員(1) 警察・消防、社会科練習	第21回	国家公務員②一般職：地方支分部局(2)、小論文練習		
第6回	公務員のイメージと実像②、第一線職員(2) 窓口業務、社会科練習	第22回	国家公務員③法務省専門職(1)「法務教官」「保護観察官」、面接練習		
第7回	公務員のイメージと実像③、地方自治体の職員、社会科練習、理科練習	第23回	国家公務員③法務省専門職(2)：「矯正心理専門職」、面接練習		
第8回	公務員のイメージと実像④、中央府省の官僚① 本省、理科練習	第24回	国家公務員④財務専門官(1)、面接練習		
第9回	公務員のイメージと実像⑤中央府省の官僚② 地方支分部局、経済学・法学練習	第25回	国家公務員④財務専門官(2)、面接練習		
第10回	採用試験突破に向けた勉強のやり方① 読解、経済学・法学練習	第26回	国家公務員⑤国税専門官(1)、経済学・法学練習		
第11回	採用試験突破に向けた勉強のやり方② 論理的思考(判断推理・数的推理)、経済学・法学練習	第27回	国家公務員⑤国税専門官(2)演習、経済学・法学練習		
第12回	採用試験突破に向けた勉強のやり方③ 英語、数学練習	第28回	国家公務員⑥労働基準監督官(1) 経済学・法学練習		
第13回	採用試験突破に向けた勉強のやり方④ 自然科学、数学練習	第29回	国家公務員⑥労働基準監督官(2)、数的推理練習		
第14回	採用試験突破に向けた勉強のやり方⑤ 社会科学、数学練習	第30回	国家公務員⑦その他の専門職：「航空管制官」「皇宮護衛官」等、判断推理練習		
第15回	前期まとめ／夏期の過ごし方、英語練習	第31回	まとめ：公務員になる為に「繋ぐ、詰める、尽くす」、過去問(教養・専門)練習		
第16回	英語練習	第32回	試験		

授業時間外の学習	総合科目群の数的推理、判断推理、基礎数学を受講し、良い成績を取ることが公務員試験合格には必要。英語ⅠⅡⅢ、自然科学概論、文章の読み方、小論文の書き方も有効、経済学部学生にとっては、学科間履修により、憲法・行政法・民法・社会政策・政治学・行政学の受講が公務員試験対策としては有効であり、法学部学生にとっては、マクロ経済学・ミクロ経済学の受講が有効である。数学ⅠA・数学ⅡB・理科・社会科教科書、基礎英文法問題精講（中原道喜）、数的処理１・２（畑中敦子）、判断推理（畑中敦子）、入門経済学（井堀利宏）、現代法学入門（伊藤正巳・加藤一郎）
履修条件受講のルール	毎週学習実績表を提出。授業中の私語は論外。
テキスト	授業中に公務員試験過去問を解いて、自己採点して、授業の最後に提出
参考文献・資料	全ての公務員試験過去問。
成績評価の方法	週間レポート提出６０％、戦略ノート１０％、授業討議１０％、試験１０％、平常点１０％ ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることはできない。
オフィスアワー	水曜日 11 時-12 時 30 分、13 時-14 時 30 分
成績評価の基準	秀（100～90 点）、優（89～80 点）、良（79～70 点）、可（69～60 点）、不可（59 点以下）
実務経験及び実務を活かした授業内容	国家公務員 15 年間勤務後、国際公務員として国連条約機関本部に 26 年間勤務（12 年間は事務次長）、数々の国際選挙・世界各国との政府間交渉・国際会議運営・国際機関の人事・管理・条約交渉などに従事。国家及び国際公務員試験（学力試験・論文試験・面接）の試験担当者。
学生へのメッセージ	ノースアジア大学生のみが受講のチャンスがある門外不出の公務員養成への道。図書館学習の重要性。